



豊かさとは？
 ～傘寿を前に②～

年齢とともに、豊かさ 呼吸それは「吸う」の価値観が変わるような「吐く」という全く異なる。今、一番大切 逆の動きにより体だと思ふのは「こころの豊 をリフレッシュさせる。それ ゆっくりとした「動き」



もう1人の孫が造ってくれたケーキと共に

父(現・宇部教会)がま 逆の発想を持つこと、その 大切に気付くことによ

1つの出会いがもたらした (こころの深呼吸)で、全 道を書き続けている。そ

前回書いた片柳弘史神 と「間」がポイントだ。

ノーベル賞などの受賞 者が「今迄あったこと、

逆の発想を持つこと、その 大切に気付くことによ

「エッセイスト」を目指し て書き続けようと思ふ。

うと思つているのは目標、 い込むとそれから抜け出

でも言うか、自分なり に新しい発想・着想をも

希望を持つとうということ しにくくなりがちだが、

とに挑戦し続けたことが、 新しい発見に繋がったの

かしそれは逆で傘寿も近 り成長していくのではある

ののだと思ふ。

づく今こそ必要なのではな

まいか?

いだろうか。

スポーツ選手しかり、

片柳神父は慶応大学で 好きなスポーツに出会い、

写真の今年3歳になった 孫の陽向(ひなた)君を思

体の深呼吸ではなく、 ティア活動を通じてインド

なり、オリンピックを目標 としていると「子供は天使

こころの深呼吸とはどんな

す。しかしその目標を違 なあり」と改めて思う。

ことを指すのかと考える。 それで彼女から神父にな

成出来る人はごく僅かか かもしれない。では達成出

肺の中に出るだけ多く るように勧められ、イエス

来なかつた人は敗者かとい えるば決してそうではない。

の空気を入れている体の深

また、苦しい道かもしれないが新しい自分に挑戦し続けているのだろう。先日引退した横綱・稀勢の里をテレビで見ながらどんなこころの深呼吸をしたのかを考えた。



今年48歳の片柳神父

自分目を見つめると退

「エッセイストを」

自分も老いてもこころの 深呼吸を忘れず、一日一日を家族や今日出会う他者と共に心豊かに歩み続けたいと思ふ。